

2020年2月9日

臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学八王子医療センター 腎臓病センター・腎臓内科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]

腹膜透析患者の経時的体組成変化

[研究の背景と目的]

腹膜透析患者さんは、腹膜透析開始後体脂肪が増加することが多いです。また慢性腎臓病の患者さんは筋肉量が減りやすく、体重が増えても筋肉量が減少している可能性があります。体脂肪が増加し筋肉量が減少すると心臓や血管の病気にかかりやすくなります。

腹膜透析患者さんの体脂肪の増加と筋肉量の減少が関連あるか調べるために、過去のデータを用いてこの研究を行います。

また、腹膜透析患者さんの体脂肪量や、筋肉量は腹膜透析開始後にどのように変化するかを解析し、どのような患者さんの体脂肪が増加しやすく、筋肉量が低下しやすいかを明らかにし、現在腹膜透析療法を実施している患者さんや、これから腹膜透析を行う患者様の診療に役立てることを目的としております。

[研究の方法]

●対象となる方

2007年9月1日から2017年12月31日までに腹膜透析を開始し、定期的にInBodyで体組成の検査を行った患者さん

●研究期間

2020年2月9日から2020年9月30日

●利用する検体やカルテ情報

身長、体重、体脂肪量、骨格筋量

年齢、性別、基礎疾患、透析量、残腎機能、2.5%透析液使用量、蛋白質摂取量、
その他血液検査データ(アルブミン、CRP その他)

●検体や情報の管理

すでに測定された上記のデータを、パスワードで管理されたコンピューターに入力し管理
します。

[研究組織]

東京医科大学八王子医療センター 腎臓病センター・腎臓内科

研究代表者: 吉川憲子

分担研究者:

山田宗治

[個人情報取り扱い]

個々の患者さんに連続番号をつけた別表を作成し、患者さんのデータは連続番号で管理さ
れたシートに入力します。別表とデータ入力シートはそれぞれ異なるパスワードで管理しま
す。

[問い合わせ先]

東京医科大学病院八王子医療センター腎臓病センター・腎臓内科

臨床講師 吉川憲子

連絡先 042-665-5611 (病院代表番号)

ionori@tokyo-med.ac.jp